



2016年 第16回安原地区 文化祭・ひろばまつり

平成28年10月15日(土)～16日(日) 開催

ぜんじゅうみち
安原



ステージ出演

団体数は、23団体。一生懸命踊り、歌い、奏で、演じました

みんなが集い
日頃の成果を
発表しました



信大生とのダブルダッチに体験参加する子供たち
オリンピック選手を目指すキッカケに



ひろばの食堂は、満員のにぎわいでした



多くの方が殺到したバザー
商品提供ありがとうございます



作品展示

展示参加団体数13団体。力作が並びました

今年も盛大に、数多くの展示とステージ出演
が繰り広げられました。
そして、あっという間に時間は過ぎて、片付け
に力を合わせました。日々の準備と積み重ねた
努力の成果を、見事に発揮した秋の晴天の2日間
となりました。

観客も出演者
最大の活動の
声援が活躍の
最前線に



松代地下壕を視察研修

安原地区人権啓発推進協議会

安原地区人権啓発推進協議会 (会長・廣瀬清安原地区連合町会長) は 9 月 30 日、太平洋戦争の戦時遺跡として知られる長野市の「松代大本営地下壕」を視察研修に訪れました。

参加した 24 人は「松代大本営の保存を進める会」の平和ガイド・中村雪子さんの案内で見学コースに入りました。「食糧事情が極めて悪く、過酷な突貫工事が続いた」「戦時下とはいえ安全と人命を後回しにして作業が進んだ」な



同地下壕は先の大戦の末期に、軍部が本土決戦の最後

の拠点として大本営や政府中枢機関を移そうとした極秘計画の下に、昭和 19 年 11 月着工されました。全工程の約 8 割まで作業が進んだ翌年 8 月に終戦となりました。多くの朝鮮や日本の人々が強制的に作業に動員されたといわれています。

秋を彩る花として目につくのが シュウメイキク と イワシヤジン です。 シュウメイキク は菊の仲間ではなくキンポウゲ科でアネモネの仲間です。 別名「貴船菊」の名前を持ち京都の貴船神社にたくさん自生しています。

子育ての集い 子育て世代にひろば開放



に集まりひとときを過ごす場の提供を続けています。



読み聞かせもコーラスが加わり物語に引き込まれていく子どもたち

第 1 火曜日は、親子が自由に使えるひろばの開放日。子はひろばに備える絵本やおもちゃで遊び、親は子どもを追いながら親同士の会話の機会になります。第 4 火曜日は色々なイベントを企画して



「ママカペラ」の歌に合わせてママと一緒に歌い、踊ります。おどれるかなど、多彩な内容で絵本の読み聞かせを一緒に歌い、踊りながら親子の絆を深めています。参加させて楽しんでください。参加したのは、1 歳未満の親子 8 組です。もうすぐ 2 人

お楽しみを提供しています。9 月の第 4 火曜日 27 日は、松本地域を中心に活動しているアカペラグループがゲストでした。メンバー 6 人は、母親でもある「ママカペラ」の

目を出産予定の方、20 分もベビーカーを押して通う方もいます。6 カ月のお子さんとも来られたお母さんは、上の 2 歳児は保育園に行き、この日は 2 人で参加です。同じ子育て世代の居場所があることが大事に感じました。

色は白・薄桃色・濃い桃色で花弁が数枚から 30 枚余りといろいろあります。中央には黄色の雄しべが多数あります。イワシヤジンはキキョウ科の山野草。谷間の湿気が多い岩壁に自生、花冠(花弁の集まったもの)は紫色、名前はそのままの通り、岩に生えるシヤジンの仲間の意味です。花冠が白いシロイワシヤジンもあります。



シュウメイキク



イワシヤジン

寒さの厳しい信州でも十分育てることが出来ます。清楚で可憐な花、庭の片隅で、ぜひ育ててみてください。小さい秋を楽しみましょう。